

SSKS

# 働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企 画：社会福祉法人 こぶしの会  
 発行責任者：藤田勝春  
 編集責任者：田澤幸子  
 発行所：障害者団体定期刊行物協会  
 (〒157-0073)  
 東京都世田谷区砧6-26-21  
 定価 100円



もくじ

- ①特集 見てきた、聞いてきた北欧障害者の暮らしの様子(第3回) … 2・3ページ
- ②仲 間 … 4・5ページ
- ③保護者 … 6ページ
- ④トピックス … 7ページ
- ⑤掲示板 … 8ページ

けやき作業所 渡辺 景子

社会福祉法人  
こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
- デイサービスセンター
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818
- 県東ライフサポートセンター TEL 028(687)0311
- グループホーム こぶしのときわ荘 ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028(662)5533
- グループホーム すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028(677)4430



# 新年の挨拶



## 「みんなのでつくる作業所」の

### 発展に向けて

理事長 藤田 勝春

明けましておめでとございます。

世の中は不景気で社会福祉の動向も厳しいものがありますが、こんな時だからこそ、こぶしの役員みんなで元気に頑張りたいと思います。去年は社会福祉法人こぶしの会の未来像を描く長期計画策定委員会が発足し、委員の方々の真剣な討議が繰り広げられています。今年の四月にはセルプ・みらいが発足します。こぶしの基本理念である「みんなのでつくる作業所」を現実的にも発展させ、何よりも実効性の実現に努力したいと思っております。

本年も皆様方のあたたかいご支援を心からお願い申し上げます。

### 特集

見てきた、聞いてきた

## 北欧障害者の

## (第三回) 暮らしの様子

けやき作業所所長 高橋 温美

北欧視察もう一つの国はスウェーデン。面積約四  
五万km<sup>2</sup>、人口八九〇万人、その多くは南部スコネ  
地方に集中しています。私たちの訪問したのは、デ  
ンマークの首都コペンハーゲンから昨年開通したば  
かりの海峡をまたぐ一〇kmの橋梁を渡ってすぐのマ  
ルメという地方都市。あたりは一気に工業地帯と感  
じさせる風景に変わります。

スウェーデンでは、九四年以降「障害者福祉改革」  
が着手されており、その制度的具体化の中心は「障  
害者を対象とする援助及びサービスに関する法律」  
(略称LSS法)と「介護手当に関する法律」(略称  
LASS法)です。その内容は、障害者の自立生活  
に必要な介護サービス内容を具体化し、これに対す  
る日本という市(コミュニティ)と県の責任を明確に  
したものです。その特徴は、高齢者を含めた「社会  
サービス法」を基礎にした特別法(差別禁止法的な  
位置づけ)であり、根本原則は「人間としての尊厳」  
にあります。また、この中で特に重要だと思つたの  
は、自己決定の原則による介護者の雇用システムを  
作りだしたこと。一般の交通機関への障害者のアク  
セスを急速に改善していること。また、障害者オン  
ブズマン制度が生活に定着しており、近年の改革の  
画期的かつ具体的な成果ではないかと感じました。



▲学齢児のグループホーム。ショート  
ステイ機能もあります。(写真2)



▲同じグループホームの食堂、右の壁の後が台  
所手前の空間が居間になっている。(写真3)



▲両親、弟とくらす、骨軟化症の方の家。  
本人専用のエリアは、寝室、居間、調理室、  
浴室、トイレ、プール。全て自治体負担、  
介助者には両親も加わっており、本人から  
の賃金が支払われている。(写真1)

しつつあります。

私たちがスウェーデンで見学した障害者の暮らし  
の場は次のようなものです。一つは家族との同居  
(写真1)。二つ目は公的な職員の管理下におかれて  
いるグループホーム(写真2、3：学齢期)です。

近年はグループ  
ホームの質的  
改善が図られ、  
トイレ、シャ  
ワー、台所が  
保障され、従  
来型も新しい  
タイプに移住

そのなかでも特筆すべきは施設の解体でしょう。  
スウェーデンでは、二〇〇〇年十二月末日をもつ  
て全ての収容施設が解体されました。施設は七〇年  
の一万三千人をピークに地域移行政策が進められ、  
九二年には三千六百人に減少、今日に至っています。  
その一方で、グループホームの整備、自立生活援助  
を進めてきま  
した。そして、



① 特集

スウェーデンのグループホームは全て町の中にあること、四七人の少人数の規模であることを前提としています。

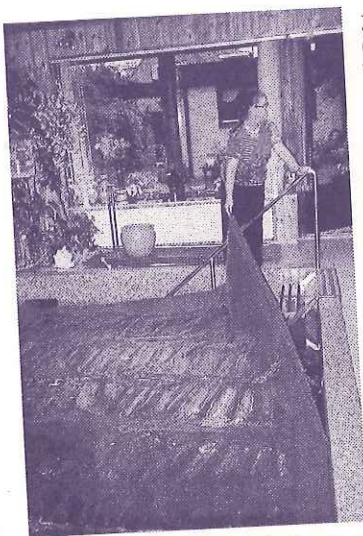
これらの生活の場の印象は、総じて住宅そのものと職員体制はデンマークで感じたことと同じ様な感想ですが、特にスウェーデンで感じた点を付け加えて報告したいと思います。

一つは、職員の専門性を強く感じました。スウェーデンでは介護職を含め国家資格を持っています。また、生活の場の中心的役割を担う職員は専門職としてのプライドを強くもっていると感じました。例えば、生活の場においても暮らし易さを追求しながら、是非か論争は別にして「TEACH」や「スヌーズレン」(重度・重複障害者のための感覚統合的な働きかけ)の技法を生活の様々なところで取り入れています。(余談ですが、知的障害者と家族の会「FUB」は、知的障害者が町の中を自由に闊歩できるように本人でも理解できるシンボルマークを町に至る所に整備しているという活動を進めています。「TEACH」の地域版でしょうか。)

また、障害者の具体的な地域生活を更に論理的に作りだしています。障害児一人ひとりにISP(インディビジュアル・サービス・プログラム)チームをつくり療育体制を組みます。障害児が乳児検診で発見されると、リハビリテーションセンターでその障害児に係わる全ての専門家(医療、保育、介護等々)が定期的にケア会議をもち、本人の地域生活等に全責任を持ちます。当然年齢に応じキーマン(会議の招集責任者)が変わります。地域に障害者をめぐる専門家の網の目ができていて、きちんと機能している感じます。この手法を成人期の障害者にも適

用していくということですが(IDP:インディビジュアル・デイベロプメント・プログラム)。理念と実践を徹底して進めているというのがスウェーデンでの障害者の地域生活づくりの実感でした。

二つ目は、制度に支えられ本人が自己決定の力を最大限に発揮し、制度を活用しながら生活を切り開いている様子がかいま見られました。家族と一緒に暮らしている骨軟化症の青年は自分自身のエリアを改築し、介護人を雇い自立生活をしています。彼は、リハビリに必要だということだけで自宅にプールを整備しています(写真4)。その正当性を裁判で明らかにし県の補助金を交付させたということです。設備だけでなく生活のあらゆる場面での人権に基づいた

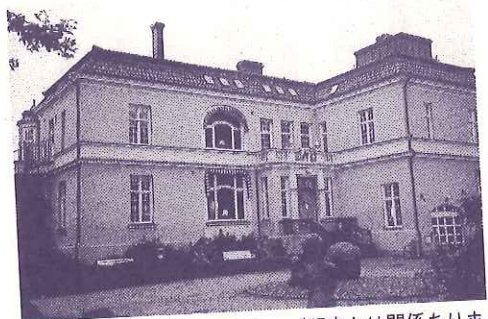


▲写真1の家の中にあるプール。(写真4)

保障が確保されていて、不都合が生じていればその責任である地方自治体を相手取って権利擁護の訴えをすることが出来ます。このことを通じて障害者が主体的に自分自身の生活をつくっているのです。今回の視察では生活の場だけでなく行政説明やリハビリテーションセンター、当事者団体との懇談、日中の活動の場や余暇活動の場も見学させていただきましたが紙面の都合で生活の場に関する報告のみは、させていただきます。二カ国を通じて感じるのは、

障害者の生活の場の量的な課題に関してはほぼ解決されていて、さらに質的な発展を追求しているという状況を、行政が責任を持ち着々と作りだしているという力強さを感じました。少なくとも理念倒れで実態のない日本の障害者施策との大きな違いを感じました。行政がこうした制度や財政的保障に責任を持ちさえすれば、案じている「日本らしい色合い」などをつくりだすことはたやすいことではないでしょうか。

日本のあり方を企業に任せ、国がその責任を回避してきた末に、廃棄物汚染列島が生まれ、富を約束するはずの生産工場は大半が海外へ流出。残ったのは自らの食糧も自給できずに莫大な負債のみがため込まれていました。企業責任はペイオフという形でお返しするということです。これ以上私たちがどんな痛みを受ければ「人間としての尊厳」を取り戻せるのでしょうか。北欧訪問にあたっての関心の所在はついに搜しだすことはできませんでしたが、現在話題になっている「民間委託」や「規制緩和」をキーワードとする福



▲アクティビティーセンター(記事とは関係ありませんが)の前にある高齢者住宅です。回りには芝生が広がり住宅地のむこうには、海が広がっています。

祉基礎構造改革の対案として大きな教訓は学んだ気がしました。





こぶし作業所では、ベアリング作業の他に新作業を導入しました。給料・仲間の可能性の両方のアップに取り組んでいます。

こぶし作業所の下請け班では、長年ベアリング作業を行ってきました。しかし、今年度はベアリング組立の機械化が行われるということで、材料が減少するとの連絡があり、新作業の開拓が課題となっていました。

六月に、平出工業団地内にあるコストコンテナ(株)さんより、半導体プレートのリユース作業の

紹介がありました。細かな検品作業で、こぶしの仲間には少々難しそうだったので、残念でしたがお断りしました。

その後七月には、竹下町に新しくできたクリエイトボックスさんより、箱折り作業の紹介がありました。器用な仲間ならできると、導入することを決めました。しかし、実際作業を開始してみると、挑戦はするものうまくできず、ベアリング作業に戻ってしまう仲間ばかりでした。結局箱折り作業は職員のみが行い、もつと簡単な作業を紹介してもらうことになったのです。しかし、箱折り作業が終わったのが十一月。十二月に新しく紹介されたのは仕切りの組立て作業でした。この作業は少し難しいと思われましたが、始めてみるといろいろな仲間が取り組みました。納期に迫られ大忙しでしたが、おもしろい作業であるように思われます。いろいろな課程もあるので多くの仲間が取り組みそうです。



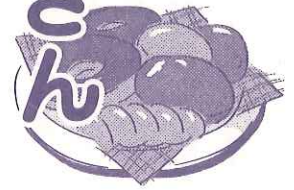
また、その間、十月にはコストコンテナ(株)さんより別の作業の紹介がありました。リールのラベルをはがすという簡単な作業です。

といったわけで現在下請け班では、ベアリング・仕切り・ラベルはがしの三つの作業を行っています。仕切り組立て作業もラベルはがし作業も、ほとんどの仲間が挑戦してみました。今までベアリング以外の作業には見向きもなかった仲間が仕切り組立てには取り組みることができたり、ラベルはがしは得意そうだなあという仲間がいたり、いろいろな発見がありました。三作業とも、職員の最終確認が必要ですが、それぞれの仲間が責任を持って取り組んでいます。また、三作業同時進行がうまくできるの不安でしたが、そんな不安もよそに、仲間たちは目の前の仕事に集中して取り組み、それぞれの作業が順調にすすめられています。また、現在さらにベアリングの数が減少傾向にあります。新作業の導入により、作業も賃金も保障することができています。職員がまだ試行錯誤のところがあり、今後いかに三作業を合理的にすすめる、より高い賃金保障ができるかが課題になると思います。

(宮岡 記)



# にっこにこ パン屋さん

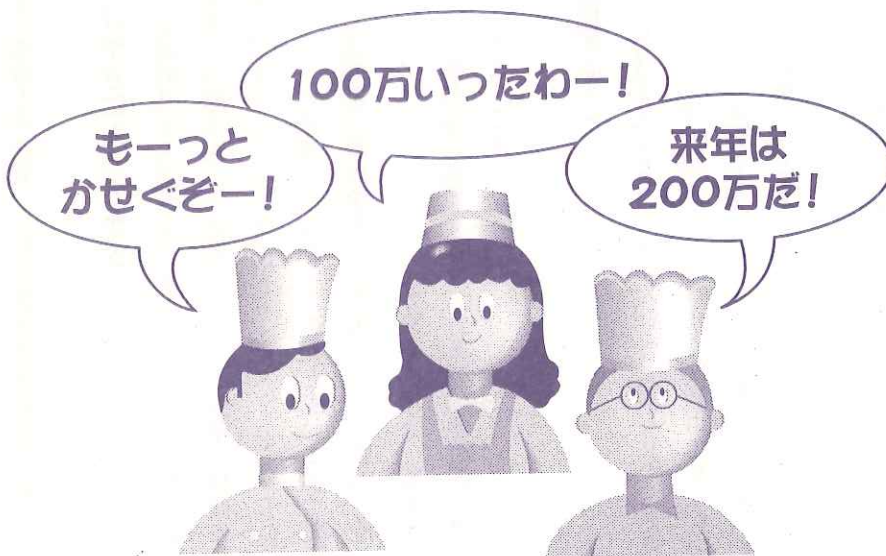


## 四年目の快挙!!!

おかげさまで「けやき作業所にこにこパン屋さん」は、四年目を迎えることができました。

当初は、何も分からずおどおどしていた仲間たちも、年を重ねるごとに技術力が向上し、その経験から作業の流れをつかみ要領よく仕事をこなせるようになってきました。そして、今年度から「毎月売り上げ百万円!!」という目標を掲げ、パン班一致団結して頑張ってきました。・・・が百万円を超えるという事は容易なことではなく、なかなか達成できませんでした。しかし、平成十三年十月、一四二万円という快挙で遂に突破することができた

のです。さらに翌月も一一五万円という売り上げを記録し、二ヶ月連続百万円を超える売り上げを獲得することができました。そこで、日頃から意欲的に労働に励む仲間たちが、自分たちで働いて得た賃金を使い、同じ働く仲間同志の親睦会を兼ね、今後の意欲につながるように「パン班親睦会」をしようと



という話が持ち上がりました。そして、十二月一日にパン班から地元で就職した二名も誘い、仲間七名、職員二名で、十二月二十六日に宇都宮動物園へ出かける運びとなりました。当日に向け、何度も話し合いがもたれ計画が進んでいきました。当日の小遣いは十二月二十一日に出た給料から持参し、童心にかえり楽しい時を過ごしてきました。

この企画を実施することができたことで仲間たちは新たな意欲を燃やし、「次月も百万円稼ぐぞおー!」(そしたら、またどこかに行けるかな・・・?)と今日も頑張っています。

(直井 記)

### 2月こよみ

#### こぶし作業所

- 2月2日(土) 支援会議
- 10日(日) 長期計画策定委員会
- 15日(金) 総括会議
- 16日(土) 職員会議

#### けやき作業所

- 2月9日(土) 支援会議
- 10日(日) 長期計画策定委員会
- 23日(土) 職員会議

#### サポートセンター

- 2月9日(土) 精神合同会議
- 10日(日) 長期計画策定委員会
- 23日(土) 支援会議



# おむすび

保護者  
リレートーク

今回はけやき作業所に通っている齊藤宗一さんのご家族の登場です。

## ＜小さい頃はどうか？＞

宗一の誕生は七夕の日でした。小さい頃、女の子のようでよく間違えられることがありました。病院の看護婦さんに「おとひめさまみたい」って言われたことを思い出します。幼稚園の頃は言葉の遅れがありました。他の子と同様、真岡幼稚園に通いました。その当時、幼稚園の送迎バスに毎日乗せてもらったりして楽しんでいました。卒園式も特別、宗一の為だけに行ってくださり有り難く思っています。また、幼稚園に通いながら、教育センターにもお世話になりました。

## ＜益子養護学校時代は？＞

その当時（一年生の時）は富屋養護学校の分校として真岡の長田（現在のひまわり園）に通い、二年生からは益子養護学校ができ、近くの学校に通うことができました。学校ではよく高いところにバランスよく登り、回りはひやひやさせられましたが、本人は怪我もせず喜んでいたことが思い出されます。中学時代は今よりもちよつとスマートで、頭は坊

主に変身し中井貴一に似てるなんて言われてました。

## ＜けやきに入ってから＞

分場時代から通わせてもらいましたが、あの頃は仲間の人数もちょうど良く、宗一も先輩の仲間に見倒してもらったりして助かりました。そのことが、今の宗一の成長につながったのだと思います。養護学校高等部三年の頃から絵を書くことに興味を持つようになりけやきに入ってから、増々、興味が湧きよく職員室の鉛筆を借りて作業の休憩時間に書いていたようです。

## ＜将来は？＞

自分達が元気なうちはのんびりと暮らせたらと思いますが、グループホームを利用させてもらうように、協力もしていこうと思います。今後よろしく願います。

宗一が生まれて色々なことで励まされたことに感謝しています、

と謙虚に話された宗一さんのお母さんです。お忙しい中ありがとうございました。



## お知らせ

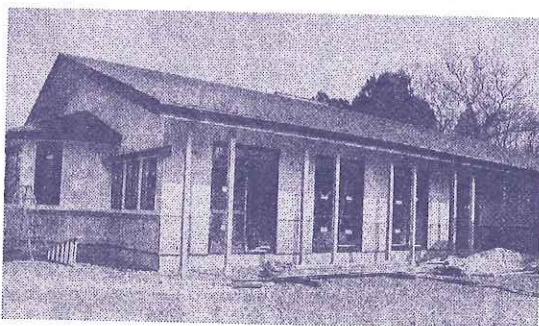
# セルフ・みらい ニュース

年末年始の休暇の間に、大勢の方が現地の見学をしてくださいましてありがとうございます。「食堂の出窓がお洒落ですね」「玄関の雨よけはいいですね」との感想を頂きました。さて、開所に向けての準備も本格的になり、去る十二月十九日には、備品及び送迎車両購入に当たって入札が行われました。結果は以下のとおりです。

備品 (株) 宇都宮ウチダ

送迎車両 (株) 栃木トヨベツト真岡営業所

年が明けた今月からは、建物は内装工事が中心となり、仕上げの段階に入りました。また、施設の主人公である利用者の募集も急ピッチで進められているところです。引き続きご協力をお願いいたします。





(こぼし)

オートレース補助事業完了のお知らせ

このたび平成十三年度のオートレースの補助金を受けて、左記事業を完了いたしました。

オートレース補助事業完了のお知らせ

このたび平成十三年度のオートレースの補助金を受けて、左記事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名 平成十三年度知的障害者授産施設(通所)の車両整備補助事業
- 一、事業の内容 ワゴン車
- 一、補助金額 トヨタハイエースコミュニティ2400
- 一、実施場所 一、八七〇、〇〇〇円
- 一、完了年月日 栃木県宇都宮市柳町一四〇一 番地

社会福祉法人こぶしの会  
理事長 藤田 勝春



(けやき作業所デイサービスセンター)

クリスマス会開催!!

十二月二十一日、けやき作業所デイサービスセンターでクリスマス会を行いました。

二年前まで、けやき作業所として行われていた行事でしたが、「働くための作業所でクリスマス会をするのはおかしい」と働いて給料をもらった方

がいい!クリスマスは家でするからしなくてもいい!」など自治会で議論され、平成十二年からクリスマス会、誕生会が廃止になりました。

しかし、クリスマスや正月といった行事は、その行事体験を通じて季節感を感じたり、けやき作業所で心に残る楽しい経験を体験することもあります。

デイサービスセンターでは、仲間から開催して欲しいという強い願いにこたえ、開催することになりました。一週間前から、利用されている方が、喫茶室にツリーやサンタクロース人形、リースなどをかざり、ライトアップし、クリスマス会に向け準備してきました。

当日は、手作りのケーキを悪戦苦闘しながら三個作ることが出来ました。完成したケーキはお世辞にもお洒落とはいえませんが、とても素敵なおいしいケーキになりました。

(サポートセンター)

初めての忘年会

昨年の十二月二十二日(土)にサポートセンター初の取り組みとして忘年会を開催しました。

場所はセンター二階のリラックスルーム。会費は財布にやさしい五〇〇円と設定しました。当日は十名の参加者でした。その中には、遠路はるばる鳥山ひまわり作業所から参加して下さった、とても歌が上手な素敵なお男性の方もいました。さて、忘年会の方ですが、会費五〇〇円ながらもオードブルと巻き、手作りのパスタ、さつま芋のサラダととても豪華な食事をみんなでいただきました。そして美味しい食事を食べながら、カラオケに突入!!皆さん歌が

とても好きで上手でした!カラオケの機械が休む間もなくくりくりと歌い続けていました。最後の締めは自分だ!と熱くなりました。一度終わってもまだ景品が残っていたので二度目を開始、十四年度の運勢をかけ、いかに早くビンゴ出来るかを競い合いました!時間的には三時間と短いものですが、時間がたつことを忘れるくらい楽しいひとときを過ごすことができました。これからもみなさんの要望に応えられる取り組みを計画して行きたいと思





# ● 掲 示 板 ●

## セルフ・みらい建設のための 募金にご協力ください

施設を建設するためには、多額の資金が必要になります。国や県から補助を受け、又、公的な融資制度を活用しても約1,700万円の寄付・募金なくては、施設を建設できません。

そのため、皆さまには、私たちの施設づくりの趣旨をご理解いただき、施設建設募金へのご協力を心よりお願いいたします。

## 募 金 要 領

1口3,000円です(何口でも結構です)

募金をしてくださる方は

●事務局または作業所にお持ちくださるか、下記までお電話いただければ幸いです。

事務局(佐護方) 0285(84)6181  
けやき作業所 028(687)1040

●ご送金(郵便振込)の場合は、所定の振替用紙をご使用いただくか、下記へお願いいたします。

郵便振替 口座番号 00140-9-558846  
みらいの会

## ボランティア 募集

こぶし・けやきで  
楽しく仕事をしませんか

内容 こぶし作業所  
けやき作業所  
デイサービスセンター  
第2けやき作業所  
(作業所で仲間と一緒に仕事を  
して下さる方募集しています。)  
キッチンセルフ  
厨房・フロントでお手伝いし  
ていただける方  
ときわ荘  
日中のそうじボランティア  
すずらんの家  
夕食づくりボランティア

きょうされん  
賛助会員募集  
連絡は栃木支部事務局  
けやき作業所へ

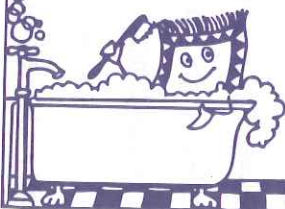
こぶし作業所・けやき作業所  
後援会会員拡大にご協力をよろしく  
お願いいたします。



## ふふふせつけん

好評発売中!!

粉石鹸 1.2キロ入り 240円  
固形石鹸 2個入り 100円



第25次  
国会請願署名・募金に  
ご協力  
をお願いいたします。

お問合せは  
各作業所まで



## にこにこパン屋さん

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。

## けやき作業所

直通電話兼FAX  
028(687)1788へどうぞ。

